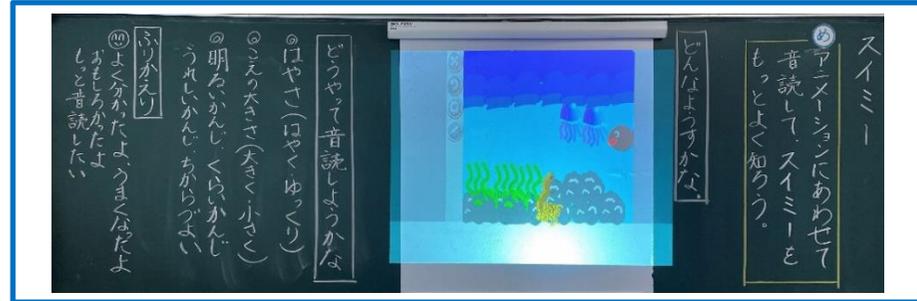
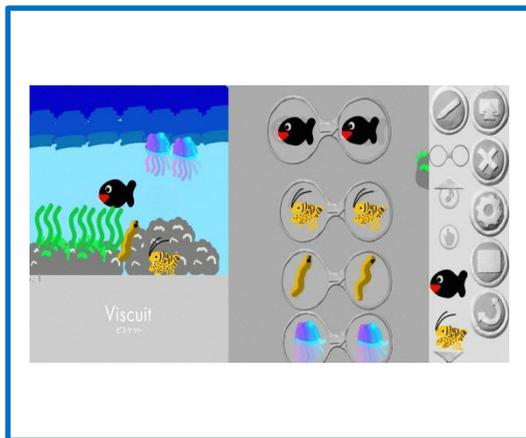


小学校 2 年生 教科名 国語



アニメーションに合わせて音読しよう

場面の様子をアニメーションに表すことを通して、場面の様子を理解し、音読の工夫に生かします。



○使用言語○

Viscuit

※左図はキャラクターを使った作品例

○使用教材・環境○

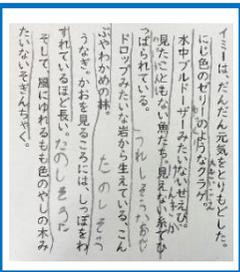
ノート PC

※Chromebook

○実践授業の展開例○

本時の目標

場面の様子への理解を深め、工夫して音読することができる。

導入	<p>○はじめの音読をし、課題をつかませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペアやグループで音読を聞き合い、読み取ったことから、場面の様子を想像させる。</li> <li>より工夫した音読にするために、アニメーションをつくることを知る。</li> </ul>	
展開	<p>○アニメーションを作成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Viscuit を用いてスイミーを動かすアニメーションの作り方を確認し、どのような動きをさせたいのか意図を明確にする。</li> <li>他にアニメーションにしたいもの（くらげ、いせえび、わかめ等）について、どのような順序で、どんな動きをさせればよいか考える。</li> <li>アニメーションを作る。</li> </ul> <p>○どのように工夫して音読したらより場面の様子が伝わるか考えながら音読をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>想像した場面の様子やアニメーションを基に音読の工夫を考える。</li> </ul>	 
まとめ	<p>○音読を聞き合い、交流させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>はじめの音読に比べどのように変わったか振り返り、ワークシートに記述する。</li> </ul>	